

サイファイ研究所 ISHE 主催

<http://science-he.blogspot.jp/>

第3回 サイファイ・カフェSHE札幌 「病気が治るとはということか」

講師：矢倉英隆

(サイファイ研究所 ISHE & フランソワ・ラブレー大学)

日時：2017年6月3日(土)、16:00~18:00

会場：札幌カフェ 5階会議室

札幌市北区北8条西5丁目2-3

電話：011-299-6967

<http://sapporocafe.co.jp/>



参加費：

一般：1,000円、学生：無料

飲み物を希望される方は各自ご持参ください。

参加を希望される方は she.yakura@gmail.com までお知らせください。

終了後、参加者の懇親を兼ねた会も予定しています。

講師の紹介と挨拶



講師：矢倉英隆

HP：フランスの哲学的生活 (<http://hidetakayakura.blogspot.com/>)

2007年、東京都医学研究機構（現東京都医学総合研究所）で免疫学の研究生生活を終える
2007年～2015年、パリ大学大学院で科学と医学の哲学を学ぶ
2011年、科学から人間を考える試みとして[サイファイ・カフェSHE](#)を始める
2012年、雑誌「医学のあゆみ」にエッセイ『[パリから見えるこの世界](#)』の連載を始める
2013年、[サイファイ研究所ISHE](#)を設立
2014年、生き方としての哲学を語り合う[カフェフィロPAWL](#)を始める
2016年3月、新たに[サイファイ・カフェSHE 札幌](#)を始める
2016年9月、フランソワ・ラブレール大学で科学と医学の哲学研究を始める

この世界を理解するために、人類は古くから神話、宗教、日常の常識などを用いてきましたが、それとは一線を画す方法として科学を編み出しました。この試みでは、長い科学の歴史の中で人類が何を考え、何を行ってきたのかについて毎回一つのテーマを選び、講師が私的なプリズムから見える世界を提示します。そこでは科学の成果だけではなく、その背後にどのような歴史や哲学があるのかという点にも重点を置きます。テーマの面から見れば、生命に関わる問題は重要な位置を占めることになると思います。

第3回は病気と言われる状態の背後にある正常と病理を分けるものは何なのか、そこから病気が治癒するとはどういうことなのかについて、特にフランスの哲学者の思索の跡とともに考えます。これらの問題に入るための背景について講師が50分ほど話した後、参加された皆様にそれぞれの立場から考えを展開していただき、懇親会においても継続する予定です。興味をお持ちの方の参加をお待ちしています。